

Q1) 聖園短大に入ってよかったこと、こまったこと

- 保育者になるための知識を身に付けることができ、専門性を高められること、そして学校がきれいで、友達も面白い人たちばかりで毎日楽しいというところがよい。こまったことは、コロナで密を避けるため様々な行事が中止になったこと。
- 同じ夢を持つ人達と一緒に保育を学べること。実習などで辛かったことや楽しかったことを共有し合えるので、そこがよいところ。また、先生方も優しく、実習や進路のことだけでなく、何でも相談にのってくれて、学生との距離も近いのもよさだと思う。
- 今までよりも柔軟な考えができるようになった。学校生活を通しての人間関係だったり、授業の中で考える幅が広がったり、ポジティブに物事を考えられるようになった。
- 学校はとてもきれいで過ごしやすい。努力次第ではあるがピアノが弾けるようになる。友達もみんな優しいので、聖園に入ってよかったと思っている。こまったことはピアノ経験ゼロだったので音譜も読めなかったし、専門的なことを言われてもちんぷんかんぷんだった。週一でピアノの授業があるので、休み時間や放課後も練習して弾ける曲が多くなった。今ではピアノが楽しい。
- 保育科しか学科がなく保育に特化した大学になっているので、通っている学生は皆保育者という同じ夢に向かって勉強している。そのためお互いの気持ちや経験を共有し合い、専門的な知識や能力の向上も感じられる。こまったことは、冬の通学で去年は特に雪が多く、電車が何度も止まり、学校や授業を休まざるを得ない状況が続いたこと。
- 聖園の先生方は保育の現場で働いた方ばかりなので、より身近で分かりやすい事例を沢山聞くことができる。1年生の時の初めての实習は分からないことだらけだったが、現場の声を聴くことで心の準備ができた。また、制作物を作り実習で使ったり、保育士に必要な知識や思考を学ぶこともできている。コロナが広がる中、様々な行事がなくなり大変なこともあるが、先生方が親身に相談にのってくださる。
- 聖園に入ってよかったことは、清潔で明るい教室で対面での授業ができている点。保育の勉強や実習に追われる中で励まし合える友人達に出会い、一緒に勉強できることのありがたさを実感している。また、先生方がとても明るく、フレンドリーで親身になってくださるので、勉強や学校生活に不安や不満を持たずに過ごすことができている。
- 聖園で保育を学んでよかったことは沢山ある。知識が増えるのはもちろんのこと、人間的にも大きく成長できていると感じる。以前よりも人の気持ちを考え、受容することができるようになった。保育を学べる聖園短大に入って沢山の経験をし、学び、同じ夢を持って共に頑張り励まし合える友達にも出会えた。後悔したことはない。
- 実習や将来現場に入った時にすぐに役立つことを多く学べること。聖園には実際に保育者として現場に出ている先生方が多くいらっしゃり、その先生方が主に実習関係を担当して下さっているので、実際に経験したエピソードを聞いたり、経験に基づいた助言も頂けたりと、自分の強みになる情報が増えていくのでとても助かっている。
- 就職するための支援がしっかりしていること。いつでも先輩方の面接の際の記録などを見られるし、実習で現場に行く機会も多くある。先生方も親身に相談にのってくれる。
- 人前に立って何かをやることに初めは恥ずかしさがあったけれど、実技や実習を通して自信がついたのは一番よかったこと。子どもの立場に立って考えられるようにもなった。

Q2) 講義や実技、現場実習についての感想（先生方の指導についても含む）

- 講義は元保育者の先生達の話聞いて何通りもの援助の仕方を学ぶことができる。実技は手遊びやおむつ交換、授乳の仕方などを学ぶ。最初は手遊びなどを皆の前でするのは恥ずかしかったけれど、次第に慣れてきて楽しくできるようになった。実習は毎回緊張するが、2週間で実際に子ども達と生活すると授業で学べないようなことを知れるし、保育者からアドバイスを貰えて新しい知識を得ることもできるので濃い時間が過ごせる。
- 講義も実技も難しい訳ではないので大丈夫。友達の実技がとても参考になるので友達との情報交換が大切だと思う。実習は大変なこともあるが、楽しいことの方が勝つ。毎日書く実習日誌は大変だが、色々な子どもに積極的に関わることによって子どもの特性や可愛さを沢山見つけられる。先生方も優しく指導してくださるので安心できる。
- 講義は保育に関する内容がほとんどで全て繋がりがあがる。現場で必要な講義ばかりだが、先生方が丁寧に教えてくださるため、保育者を目指す人にとってはとても充実した時間になる。高校の生活科でやった授業の復習的なこともあり、普通科の人達よりも知識があるのでより楽しく学べる。実習は保育者になるために視野を広げていろいろなものを吸収することが大切。地元で2週間、毎日、毎週目標を持って子ども達のことはもちろん、保育者の言動も環境構成とともにしっかり見て学べることは実に楽しい。
- オムツを替えたり、沐浴させたり、調乳をしてミルクを与えたりする経験は初めてだったが先生方が丁寧に指導してくださるので身に付けることができた。実習は初めとても緊張したが、子どもと一緒に過ごしたり、笑顔を見たりすると次第に緊張もほぐれた。言葉でやり取りするのが難しい0～1歳児の喃語を通して子どもの気持ちを読み取るのは難しかった。
- 授業では事例を活用することが多い。制作物の発表や素話などを皆の前でやるのは緊張するが、子ども達の前に立つことを想定しているので自信を持ってやるよう努めている。実習では手遊びや読み聞かせ、新聞シアターなどをやった。練習していても上手くいかないことの方が多い。これからもめげずに自信が持てるまで練習して臨むようにしたい。
- 実技ではコマや素話、手遊び、けん玉などの発表やテストがある。他にも、声楽やピアノの授業でも、歌（個人、グループ）やピアノのテストもある。大変だが、友達の発表を見て学んだり、自分の課題が見つかったりするのでためになると思っている。実習では子ども達や保育者の方々が温かく迎えてくださるので楽しく実習ができる。座学で学んだことが現場に出ることで深まるし、気付くことも沢山ある。子ども達も可愛い！
- 先生方の実体験話も含んだ講義はとても勉強になる。様々な先生方の講義を受ける中で、自分なりの保育観をつかめた。そこから得た知識や技術を2年間で5回の実習で実践する。実際に子どもと関わりながらの生活は、講義では気付かなかったことを発見し、子ども達にあった声掛けもし、園の先生方から沢山指導を頂き多くの貴重な体験ができる。
- とても優しい先生方ばかりで、不安なことや困っていることを相談すると親身になってくださるので自分のためになるし、勉強にもなり。実習は、子ども達はかわいいし、様々なことが学べるので自分でも少し成長できているのかなと感じている。
- 子どもについての基本的な知識は講義でやることが多い。他にもあやとりやコマ回しのテストや素話等授業内で発見することもある。最初は恥ずかしいと思うが、他の人の作品を見られるのはためになるので、勇気を持って堂々とやれば良いと思う。先生方は保育現場に立ったことのある方々ばかりなので、事例等を交えて詳しく教えてくださる。
- 講義では、事例を基に子どもの気持ちを考えたり、保育者が子どもと関わる時にどんな声掛けをしたらよいかなども考えたりしている。学生同士の意見交換もあって楽しく学べる。

Q3) 近況、今頑張っていること、将来の夢など

- 一人暮らしを頑張っている。家事一つできなかったけれど1年でできるようになった。一生懸命、勉学と生活することに頑張っている。将来は保育教諭になって子どもたちの笑顔を引き出せるような保育者になりたい。
- 今は折り紙やピアノ、手遊びなど保育に役立つことを頑張っている。折り紙が苦手なので実習や現場に出た時のために、苦手が得意に変わるよう練習している。また、ピアノも弾けるようになるまで時間がかかる方なので、毎日練習した弾くだけでなく、子どもが歌うことをイメージしながら弾くことを心掛けている。最近は好きな曲も弾けるようになり楽しい。
- 今頑張っているのはピアノだ。来年からは保育者としての新しい生活が始まるので最低限ピアノは自分の武器になるように頑張っている。将来は子ども一人一人の気持ちを尊重し、周りから信頼される保育者になりたい。
- 去年初めての实習を終えてから本気になって保育士になることを決意した。すごく子どもがかわいくて、一緒に遊んでいて楽しいし、子どもの話すことが面白くて、保育士になりたいと強く思うようになった。だから保育についての勉強を頑張っている。
- 今頑張っていることは就職試験勉強だ。実習と試験が同じ時期にあるので勉強時間は限られているが頑張りたい。将来の夢はもちろん保育者だ。地元の公務員試験に合格して地元で働きたい。そのために少しでも5教科の知識を増やしたい。
- ピアノを一番頑張っている。聖園への入学が決まってからピアノの練習を始めたが、少しずつ難しい曲も弾けるようになってきた。卒業までに1曲でも多く弾けるよう練習したい。子どもの気持ちに寄り添い尊重した保育を目指していきたい。
- 学生のうちに一つでも多く制作物を作っておきたいと思って頑張っている。友達の作品も将来自分も使えるよう、色々な人のものを参考にして取り組んでいる。卒業後は認定こども園に勤めたいと考えている。将来子どもと一緒に歌えるようピアノ練習にも力を入れている。
- 今は実習準備を頑張っている。初めての責任実習があるので緊張している。子ども達にとってもよい経験になるようにしたいと思っている。2年生になって就職について考えなければならず色々悩んでいる。授業や実習を通して保育の場に立ちたいという気持ちが強まっているので実現できるように頑張りたい。
- 最近は6月の責任実習に向けて指導案を書いたり、必要なもの、手遊び等の準備をしている。将来は保育士・保育教諭を目指している。まだアバウトにしか就職先を考えられていないので、実習後にはもっといろいろ調べたりして決めていきたい。
- 今は就職活動に頑張っている。就職試験ではピアノの実技試験がある園も少なくないので、ピアノレッスンの時間も毎週頑張っている。子どもの声に耳を傾け、子どもと一緒に成長できるような保育者になりたいと思っている。
- 短大なので2年次にはもう就活で、あっという間に時間が過ぎていく。実習のことも考えつつ、就職のことも考えなければならない今は毎日忙しい。普段はアルバイトもしているので両立させて頑張っている。就職先はまだ決まっていないが、焦らず納得のいく方向に進められればいいなと思っている。
- 個人的に様々な資格を取得するために勉強していて、5月に「食育実践プランナー」の資格を取得した。将来保育現場で働き、お便りや連絡帳を書く時のために簡潔で分かりやすい文章を書けるよう心がけている。
- 今頑張っているのはピアノ。声楽の先生の伴奏が心に残るような演奏だったので自分もそれに憧れてあのようなピアノ伴奏ができるようになりたいと思って練習している。

Q4) 後輩に勧めるとしたらどんなことがおススメですか等のアドバイス

- 聖園の生活は毎日充実していて、保育者になるために必要な知識・技能を身に付けることができるので絶対にお勧めしたい。ピアノが出来なくても入学後に練習を重ねれば弾けるようになるので大丈夫。学校がきれいで、先生も学生も優しいし、行事が楽しい。保育科単科なので同じ目標を持った仲間と高め合えるところがよい。
- 秋田駅や泉外旭川駅から徒歩で通えるところにあり、学内はとてもきれいで、設備がしっかりしている。体育館は改修が終わったばかりで新しい。敷地内に、幼稚園や保育所もあり子どもを身近に感じられる環境だ。その子ども達を招いてのイベントもある。幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を得ることができ、素敵な仲間や親身になってくださる先生方にも出会える。充実した短大生活を送ることができるので、お勧めしたい。
- 子ども好きで秋田から出たくない人、秋田で働きたい人にはお勧め。校内の体育館や子育て支援室、造形室、チャペル、学生会室が増築されてきれいだ。学内無線 Wi-Fi が使えるようになった。先生方がとても親切。ピアノが弾けなくても、分かりやすく丁寧に指導して下さるので安心。
- 聖園をお勧めしたいところは、先生方や同級生との関わりから生まれる穏やかな雰囲気だ。同じ保育者を目指す仲間たちと切磋琢磨しながら、楽しさも苦しさも共有し合っていくことができる。去年の80周年を記念してつくられたスタンドグラスや、改修された体育館などがあり、毎日美しい環境に囲まれて学習することができる。
- 学内に付属幼稚園と保育所があるので、その子ども達と授業などで触れ合うことができる。その触れ合いで学んだ知識と技術を生かしてさらに学びを深めることができる。また、ボランティアを募集していることがあるので、授業や実習以外にも子ども達と触れ合い経験を積むこともできるのもお勧めだ。
- 自分が目指す保育士像を漠然としたイメージでいいので持っておくとよいと思う。入試の面接の時に聞かれる可能性があるし、入学後の授業でも自分の目指す保育について聞かれたり、書いたりする機会が多いので持っておくことをお勧めする。授業を重ねていくうちに保育のイメージをつかめて、自分の保育の芯を持って実習に臨むことができるようになると思う。
- 聖園の先生方はみんな学生に寄り添って分かりやすい指導をして下さるので、とても良い環境で大学生活を送れると思う。ピアノは不安に思うだろうが、一人一人の能力に合わせて指導してもらえ、弾けるようになるまで褒めてくださるので頑張ろうと思えるようになる。同じ夢を持った友達と悩みを共有したり励まし合ったりできるので聖園はお勧めだ。
- 学内の設備が整っていて生活しやすい。木を基調とした校舎で温かいアットホームな雰囲気で勉学に励むことができる。先生達が学生一人一人をよく見て声をかけてくださり、相談にものってくださるので安心して学生生活を送ることができる。ピアノ未経験で入学したが、レッスンで丁寧に個別指導をして下さるので心配なくてよい。
- 1年次にあやとりとコマ回しのテストがあるので少しでもできるようにしておくとうい。ピアノは個々の能力に合わせて付き添いながら教えてくれるので心配しなくてもよいが、ドレミなどの音階は読めるようにしておくとうい。実習中の日誌は毎日書くので文字を綺麗に書けるように練習しておくとうい。
- 先生方との距離が近いことが特徴。担任制があり相談しやすい環境が整っている。担任だけでなく大学の全ての教職員が親身になってくださる。面談などの場でなくても、休み時間などでも話や悩みを聞いてくださるので安心して学生生活を送れる。実習は1年次に2回、2年次は3回あるので実践力がつく。保育志望ならぜひ聖園へ。

Q5) その他（学生会活動、サークル活動、アルバイト等について）

- 今年の3月から将来子どもに関わる職業に就きたいと写真スタジオでバイトを始めた。サークル活動では昨年学園祭でハンドベルをやり楽しく演奏することができた。昨年度から引き続きクラス委員としてクラスをまとめている。勉強以外にも積極的に様々な活動をして自分を高めていきたい。
- バスケットボールサークルに入っている。コロナもあってなかなか活動できていないが、皆で集まって活動できることはとても楽しい。バイトは電車通学なので平日はやらず、土日・祝日だけやっている。平日は大学、休日はバイトの一日と割り切ってやっている。
- 学生自身で何をするか活動を決めて、仲間と一緒にサークル活動を楽しむことができる。スポーツ、ダンス、課外活動はもちろん、手話、カトリック研究など幅広いサークルがある。アルバイトは自由にやれるが、実習期間及び2週間前は禁止されている。学生会活動で行事等の運営などを行っている。
- 学生会活動やサークル、アルバイト等はやっていないので、家で資格取得の勉強をしたり、実習に向けた制作物の作成をしている。自分で考え、自分で行動することが高校時代よりも増えた。
- 学生会は立候補制なのでやりたいと思ったらやってみて欲しい。サークル活動は、今年体育館が出来上がったので、運動系のサークルは活動している。他にも写真やダンスなどサークルの数は多いので、好きなサークルがあれば入って欲しい。アルバイトは放課後や土日にやれる。しかしコロナのため実習の2週間前からは禁止。
- 週3でバイトをやっている。親に学費を毎月返しているのが大変だが、大学生活を送りながらもバイトする時間が作れている。大変なことも沢山あるが、それ以上に楽しいことが沢山あるので、毎日頑張っている。
- 現在はコロナの影響で今までの学校行事を全部は経験していないが、できた行事（聖園祭、クリスマス、80周年記念ミサ）は興味深く楽しむことができた。電車通学をしているが、朝は始発で登校し、50分ぐらいで課題をやったり、ピアノの練習をしたりしている。羽越線は悪天候になるとすぐ運休する。そんな時はバスで通ったり、前日ホテルや友達の家に泊まったりして対策をとっている。冬の通学に少し難儀するが覚悟しておくといよい。
- サークルは沢山あるが、基本的に学生自身が活動内容を決めて、自由な形で行われるので入るハードルは低いと思う。私自身サークルでできた友達との生活を楽しんでいる。放課後は時間がとりやすいので、私を含めて多くの学生がアルバイトをやっている。「働く」という経験は初めてで大変なこともあるが、人間として社会人として良い経験になると思う。
- 昨年8月から飲食店でアルバイトをやっている。始めてから周りを見て行動したり、先を見て準備したりすることが以前よりできるようになった気がしている。ダンスサークルに入っている。友人達ととても楽しく活動できている。
- 私はBODサークルとMacサークルというどちらもダンスのサークルに所属している。聖園祭で踊るために活動している。アルバイトは地元でやっている。普段は土日のみだが長期休業中は毎日やっている。コロナで実習2週間前から禁止なので、バイト代で生活している人は大変だろうと思う。
- アルバイトは週4～5ペースでやっている。土日は8時間ぐらい働いている。大学に通いながら勉学と両立させて頑張っている。サークルは不定期だが自主的に活動している。サークルは掛け持ちもOK。私は3つに入っている。充実した学生生活を送っている。